

上越・大島区の団体

高速通信網で地域元気に

上越市大島区をITの力で活性化したいと、地元の任意団体「NPOこんぼす」が今秋、活動を始めた。市内で最も高齢化が進む大島だが、光ファイバーによる高速インターネット網が完備された環境を生かし、タブレット型多機能端末を使った高齢者の買い物や外出の支援、安否確認の仕組みをつくる予定だ。まずはITに親しんでもらおうと端末に触れる体験会を開き、普及を目指している。

(上越支社・阿部要)



高齢者の日常 ITで後押し

「写真を撮りたい時は、液晶画面にあるカメラの絵

老人会の集まりで開かれた

タブレット端末の体験会。

「旅行にも持って行ける」

と声が上がった14日、上

越市大島区

を触ってください。14日、地域の老人会を対象にした初の体験会が下長集落開発センターで開かれた。こん

活用モデル発信目指す

ばす理事長の佐藤一仁さん(44)らメンバーがタブレット端末の使い方を教えた。お年寄りには慣れない手つきで画面にタッチし、地元

じ、ITによる地域おこしの誘致にも取り組んでいる。大島は人口が少なく、光回線が混み合わないため、通信速度が確保できる点がメリット。東京から新幹線

なことを乗り継ぎ3時間圏内というアクセス面と合わせ

てアピールし、雇用の場創出につなげたい考え。

ITの活用事例を「大島モデル」として、他地域へ

生活支援システムは、「お買い物」「お出かけ」などだ。佐藤さんは「大島で、仕事をホームページ制作などを行っている佐藤さん、田舎暮らしに憧れ、2と、仲介するオペレーター

タブレット端末とテレビ電話でつながり、末を使った生活支援システムを依頼できる仕組み。安否確認にも活用できる。宅配では、高齢者向けに移動販売車を行き来する地元



日曜
ひろば